



社内資料

【アレグラドライシロップ 5%】

各種飲料・食品との配合味覚試験

サノフィ株式会社

2015年9月作成

アレグラドライシロップ5%の各種飲料・食品との配合変化

1. 配合方法

本剤を0.6 g (フェキソフェナジン塩酸塩として30mg)につき、配合対象が液体の場合には25mlに、固体または半固体の場合には25gを配合して試料とする。また、別にミネラルウォーター25mlに本剤0.6 gを懸濁させたものを対照とする。試料はいずれも無色のプラスチックコップに入れる。配合後、速やかにその味見を行い、下記表に基づいて評価を行う。

スコア	苦味の評価
1	苦味は全く認められない
2	苦味がほのかに感じられる、又は、疑わしい
3	苦味が感じられるが、服用にあたって支障はない程度 (ミネラルウォーターに用時調製した試料と苦味が同等、または苦くない場合)
4	苦味が感じられ、服用に支障を来たす程度

2. 評価方法

全被験者が味見後に評価したスコアの平均値を算出する。平均値が2を超えた場合は飲料・食品との配合により、本剤による苦味が発現したと判断する。

3. 結果

飲料	スコア/苦味の評価
水	3.1
お茶 (麦茶)	2.4
オレンジジュース	1.3
リンゴジュース	1.5
スポーツ飲料	2.5
ココア	1.2

食品	スコア/苦味の評価
アイスクリーム (バニラ)	1.8
アイスクリーム (チョコ)	1.1
プリン	2.2
コンデンスミルク	1.2
メープルシロップ	1.3
嚥下補助ゼリー (ストロベリー味)	3.0

n = 8 の平均値を記載